

# 会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称 令和元年度第2回美里町政策推進・評価委員会
- 2 開催日時 令和元年8月1日(木)午後1時30分から午後2時40分まで
- 3 開催場所 宮城大学大和キャンパス 401会議室
- 4 会議に出席した者
  - (1) 委員  
徳永幸之会長 佐々木秀之委員 桂晶子委員 谷口葉子委員
  - (2) 事務局  
企画財政課長 佐野仁、同係長 鎌田拓也
- 5 議題及び会議の公開・非公開の別
  - (1) 議題
    - ① 議事録の署名人及び書記について
    - ② 地方創生関連事業の評価について
    - ③ 次回の会議開催について
    - ④ その他
  - (2) 会議の公開・非公開の別  
公開
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の人数  
0人
- 8 会議資料  
別紙のとおり
- 9 会議の概要
  - (1) 議事録の署名人及び書記の選任について  
議事録署名人は徳永会長及び桂委員、書記は事務局とする。

(2) 地方創生関連事業の評価について

評価報告の概要については、報告のあったとおり委員会として承認した。

なお、報告書の記載内容について一部表現の補足等があるものについては、令和元年8月8日まで修正し、その修正内容については会長一任とした。

(3) 次回の会議開催について

第3回委員会（全体会）は、令和元年8月27日（火）午前10時30分から、会場は宮城大学とする。

(4) 意見の詳細

別紙のとおり

【午後1時30分 開会】

事務局（佐野課長）	<p>本日は、御多忙のところ、御参会頂きまして誠にありがとうございます。</p> <p>また、お忙しい中、本日の議事となっております地方創生関連事業の評価報告書を提出いただき重ねて御礼申しあげます。</p> <p>早速ですが、ただ今より、令和元年度第2回美里町政策推進・評価委員会を開会いたします。</p> <p>開会に当たり、徳永会長より御挨拶を頂戴いたします。</p>
徳永会長	<p>委員の皆様におきましては、御多忙の折、個別会の開催及び評価報告書を作成いただきありがとうございます。本日は限られた時間ではありますが、しっかり審議していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
事務局（佐野課長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、3報告について、事務局より申し上げます。</p>
事務局（鎌田）	<p>個別会の開催状況について、まず、地方創生関連事業について報告いたします。</p> <p>令和元年7月12日に不妊治療費助成事業について桂委員、令和元年7月18日に農産物産地形成促進事業、起業促進拠点事業について谷口委員、令和元年7月23日に定住化促進事業について佐々木委員、同じく、令和元年7月23日に総合計画推進事業について徳永会長に開催いただいております。</p> <p>次に、重点実施施策について報告いたします。</p> <p>令和元年7月30日に「医療の充実（施策15高齢者が安心して暮らせるための対策）」、「子育て支援の充実（働きながら子育てを行う家族を支援するための対策）」、その他関連重点実施施策について桂委員に開催いただいております。</p> <p>全体で5回の個別会を開催いただいております。</p> <p>なお、本日、第1回全体会及び地方創生関連事業評価に係る個別会開催の会議録を用意しておりますので、会議終了後、確認、署名をお願いいたします。</p>
事務局（佐野課長）	<p>それでは、議事に入ります。美里町政策推進・評価委員会条例第6条第1項の規定により、会議の議長は会長が務めることと定められております。</p> <p>これより、徳永会長を議長に、議事の進行をお願いいたします。</p>
徳永会長	<p>次第に則り、進めてまいります。</p> <p>まず初めに、1議事録の署名人及び会議書記の選任についてですが、書記は事務局にお願いしたいと思います。会議録の署名人については、2人としておりますので、桂委員と私ということよろしいでしょうか。</p>
委員	【はいの声】
徳永会長	<p>次に、2地方創生関連事業の評価についてです。一つひとつ、順番に各委員から概要を報告いただき、皆さんで審議してまいりたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
委員	【はいの声】

徳永会長	それでは、定住促進奨励事業について、佐々木委員、お願いします。
佐々木委員	<p>地方創生について、住宅の取得に関する取組を中心に評価しました。</p> <p>定住促進事業については、新たに住宅を取得、中古物件もですが、支援して世帯を増やす取組を進めており、数字上でみても、定住促進事業は着実に効果を表しています。しかし、今までそれをけん引してきた駅東地区の宅地造成が終了したことを受け、今後は、中古物件の利活用に向けた取組が必要となっております。現時点では、まだ実績は少ないですが、フィールドの把握からしっかり行っていく必要があります。</p> <p>転入について、取組の効果は得られていますが、転入者を見てみると、首都圏からの移住者という訳ではなく、近隣の大崎市からなど、元々美里町に縁のあると思われる方が多く、域内からの移住、定住に留まっていると考えられます。地方創生も踏まえ、定住促進は引き続き取り組むべき課題であると考えますが、現在行っている「ふるさと回帰センター」といった外部機関が主体となって開催するイベントでのPR活動だけではなく、小規模でもよいので町独自のPR活動を行っていく必要があると感じます。また、昨年も指摘しましたが、移住者の雇用との関係で、美里町起業サポートセンター「Kiribi」との連携や若い世代へPRするためのツールが必要であるという評価をしました。</p>
徳永会長	今の報告について、確認、質疑等ございますか。
徳永会長	最後の部分で、昨年の指摘内容を受けた取組の状況はどうでしょうか。
佐々木委員	担当課だけで取り組むのは難しいものがありますので、まずは、ヒアリングから行おうということで、「Kiribi」との連携や地域おこし協力隊といった人の面での具体的な話を進めているところです。
徳永会長	昨年の指摘を受け、準備を進めているということであれば、その取組を着実に進めてもらいたいという内容を報告書に記載いただければと思います。
徳永会長	その他、確認、質疑等よろしいでしょうか。
委員	【はいの声】
徳永会長	それでは次に、不妊治療費助成事業について、桂委員からお願いします。
桂委員	美里町不妊治療費助成事業は、宮城県と同様の事業の助成決定者のうち、条件を満たした者へ1回の治療につき上限10万円/回の治療費助成を行うものです。申請件数は、事業開始の平成27年度4件、平成28年度10件、平成29年度11件で、昨年度は10件となっておりますが、複数回申請した方もいるため、実人数は28人です。また、この内、母子手帳交付となったのは4件でした。今年度から初回治療者に対して、10万円だった助成金が15万円と5万円増額となり、支援の拡充が図られています。不妊治療の中でも体外受精などの生殖補助医療を受けるカップルは毎年著しく増加していることから、今後についても本事業の継続が強く望まれます。

	<p>事業の改善点としては、事業の周知を含めたより能動的な事業展開にあると考えられます。申請件数が計画件数を下回っていること、県の治療支援事業からの紹介以外での本事業の主な周知方法が Web のみであることなどから、本評価報告書では過去3年連続して事業の広報や周知上の改善余地が指摘されてきました。さらに、昨年度は、数値データを示し、少子化対策が喫緊課題であることが明記されました。宮城県が行う「移住フェア事業」で配布する町 PR パンフレット「美里にひとめぼれ」に本事業の内容が記載され、ネット情報「みやぎ移住ガイド」にも同様の内容をアップするなど、周知拡大は図られています。しかし、担当部署が広報・周知について改善や工夫を積極的に図った状況は把握できておらず、町の Web サイトの「不妊治療費の助成制度」のページでも、初回治療に対し助成が増額された情報は公開されていませんでした。</p> <p>不妊の原因は様々ですが、男性側に理由がある割合と、女性側に理由がある割合は、ほぼ半々だと言われています。その一方で、女性の年齢による妊孕性の低下は、平均寿命が延びてもその変化はあまり変わらない現象であり、出産数は35歳を過ぎると減少の傾向は顕著になり、40歳を過ぎると急速に減少することが指摘されています。実際、美里町での平成29年の出産数のうち母親の年齢が40～44歳では8人、出産総数142人に対し5.6パーセントで、45歳以上は0人でした。挙児を望むカップル等が不妊治療を早く開始することで妊娠する可能性は高くなると考えられますが、平成30年度の美里町不妊治療費助成事業の申請者8人のうち4人は40歳以上となっています。</p> <p>Web での効果的な周知方法、Web 以外での周知の機会はないのか、どのようなタイミングで誰に対して周知するべきか、不妊治療費助成事業の潜在的ニーズは実際の程度なのか、女性の妊孕能力や男性不妊に関する健康教育の必要性はないのか、ワーク・ライフ・バランスの意識の実態など、多角的観点から健康上の課題を分析して、より能動的に事業に取り組むことが望まれるということで、評価しました。</p>
徳永会長	今の報告について、確認、質疑等ございますか。
徳永会長	担当部署が広報・周知について改善や工夫を積極的に図った状況は把握できていないとのことでしたが、一方で、その上段に周知拡大は図られているとありますが、どのように捉えたらよいでしょうか。
桂委員	不妊治療においては、日々新しい知見などが発表されています。そういった情報を住民の方に積極的に、担当課が主体となってもっと能動的に周知していくことが大切だと感じます。
佐々木委員	宮城県不妊に悩む方への特定治療支援事業と記載がありますが、この標記でよろしいでしょうか。
桂委員	宮城県不妊に悩む方への特定治療支援事業で一つの事業名称になります。
徳永会長	事業名称ということで、かぎかっこの記載をお願いします。

桂委員	事務局に確認ですが、昨年度の評価報告に対する取組報告といったものはないのでしょうか。
事務局（鎌田）	地方創生関連事業については、評価報告に対する取組報告は行っておりませんが、重点実施施策については、担当課から反映状況報告書の形で報告いただいております。今回、資料としてお配りさせていただきました。
徳永会長	評価を受けて、担当課でそれをどのように受け止め、どのように対応したかが大切になるかと思います。
事務局（佐野課長）	町としましても、重要な事業となりますので、引き続き評価をいただきながら取組を進めてまいりたいと考えております。
徳永会長	その他、確認、質疑等よろしいでしょうか。
委員	【はいの声】
徳永会長	それでは次に、農産物産地形成促進事業、起業促進事業について、谷口委員からお願いします。
谷口委員	<p>昨年度からの継続事業となります。</p> <p>まず初めに、農産物産地形成促進事業についてですが、活動指標である契約栽培取組者数は計画値15人に対し実績値12人、土地利用型野菜取組者数は計画値30人に対し36人となっており、前者については目標値に若干届いていない状況、後者については目標が達成できている状況で、全体的にも概ね目標は達成できていると判断されます。この施策は、水稻から野菜への転作を展開するものであり、昨年度も評価報告させていただきましたが、技術上の課題が大きく、現在も馬鈴薯を除いて営業利益が赤字の状況にあります。このため、黒字化するための技術や販路開拓の支援が必要となっています。これを受けて、町では、「美里地域農業再生協議会」において、品目別のアクションプランの策定や産地づくり部会の設置を行っていくとのことです。また、部会の中で栽培技術の伝達、成功者からの情報のフィードバックを行うとともに、JAと補完的な施策の展開を調整していくとのことです。さらに、農業経営の能力向上を目指した実践塾を開校しており、技術面だけではなく経営面での支援を行うとともに、新規就農を検討している方のネットワーク作りの場ともしていきたいとのことです。このように複合的な支援を継続していただきたいと思っております。</p>
徳永会長	産地ネットワークづくりについて、美里町における人的なネットワークとのことでしたが、このままの表現ですと、産地間のネットワークとも読めてしまいますので、産地内における人的ネットワークの構築といったように修正していただければと思います。
谷口委員	はい。
徳永会長	こちらの事業については、評価報告に対する取組が見られたということでよろしいでしょうか。

谷口委員	はい。今回、その対応も含めて評価報告させていただきました。
徳永会長	その他、確認、質疑等よろしいでしょうか。
委員	【はいの声】
徳永会長	それでは次に、起業促進事業について、引き続き谷口委員からお願いします。
谷口委員	<p>美里町起業サポートセンター「Kiribi」を拠点とした起業支援に対する評価となります。</p> <p>指標の達成状況につきましては、セミナー回数は計画通り実施されておりますが、参加者数は計画値を下回っている状況にあります。その他、施設利用区画数についても計画値通りであり、施設開所日数、延べ利用者数については計画値を上回る状況となっております。全体として、指標の達成状況は概ね良好と判断されます。昨年は利用者数がゼロでしたが、新たに3人の利用者が得られたことで、延べ利用者数の増加にも繋がった形になります。引き続き、「Kiribi」のPR活動を展開していく必要があると感じます。また、今回、特にPR活動として効果があったのが、2月18日から開催した「Kiribi ウィーク」であり、シェアオフィスの見学、体験を通して利用者の増加を図っております。このような取組をとおして、地域にも開かれた場所として、地域住民に身近に感じてもらうとともに、起業についても身近に感じてもらうことが大切であり、こういった取組を継続していくことが必要であると評価しました。</p> <p>施設利用時間について、昨年は午後5時までだったところ、午後9時まで延長することで、利用者の利便性を高めるとともに、職場の環境改善に努めています。また、先ほどの「Kiribi ウィーク」の中で、若手の女性起業家によるワークショップを開催することで、起業者の生の声を聴くことができ、現在、起業を考えていなかった方へのきっかけ作りにも繋がっていると考えられます。このように、潜在的な起業検討者の掘り起こしも行っていく必要があると考えます。なお、施設利用時間の延長については、現在、デザイナー等の利用者があること、IT関連者のように場所を選ばないクリエイターのような職種の方は、時間を問わず利用できる環境の方が利便性が高まることから評価報告として記載させていただきました。</p>
徳永会長	確認、質疑等ございますでしょうか。
佐々木委員	午後9時までというのは、今、試験的に行っているということではなく、通常として現在設定されているということでしょうか。
谷口委員	<p>はい。昨年から午後9時までとなっております。</p> <p>なお、利用者には鍵を配付しているとのことで、24時間利用も可能な状況にはありますが、他のシェアオフィスの事例から、泊まり込みによる利用を制限するために、利用時間を設定しているとのことです。</p>
佐々木委員	セキュリティの関係もありますが、24時間で利用可能となれば、他のシェアオフィスと比較して優位性は高まるように感じます。
徳永会長	評価報告として、利用時間の延長の検討とありますので、町の方でも再度、検討い

	ただければと思います。 ちなみに、3人の利用者についてですが、こういった方でしょうか。
谷口委員	デザイナー、IT関係、社会保険労務士の3人になります。
徳永会長	町内の方でしょうか。
事務局（鎌田）	町内、町外とおります。
徳永会長	この事業には2つの意味があると思います。1つは町内の方で新規に起業してもらおうということ、2つめは定住に関連して、既存の事業者でも構いませんが、町外の方が美里町にきて起業してもらおうということがあるかと思います。 利用可能区画数は全部でいくつありますか。
谷口委員	現在、5つとなっております。
事務局（鎌田）	仕切りで分ける形となっておりますので、区画数は増やすことが可能です。
徳永会長	利用3区画というのは、評価としてはどうですか。昨年度のゼロから考えれば評価できる内容かと思いますが。
谷口委員	昨年度は5件で設定しており、今年度は3件と目標値を下げ設定しています。
徳永会長	下げなくてもよかったと思いますが、利用者が増えたことは大きな進展であると思います。一つの事例からさらなる広がりも期待できるかと思いますが。
徳永会長	その他、確認、質疑等よろしいでしょうか。
委員	【はいの声】
徳永会長	それでは、最後に私から総合計画推進事業に対する評価となります。 この事業は、全事業をとおして各施策の目標達成状況を目標として設定しており、その達成状況は全体で43.3パーセントと、年度毎に100パーセントを目指すという目標からみると、低い達成率となっております。個々の未達成の要因については、昨年度から大きく変わっていないため、同様の指摘をしております。また、昨年も指摘しておりますが、単に目標値の達成ということではなく、個々の施策、事務事業がより大きな政策や町の基本理念にどう貢献しているのかを意識してほしいということで評価しております。また、今回、進行管理調書の様式を変更し、事業担当者に記入してもらうことで、その繋がりを認識してもらうということです。これについて2点程報告書に記載しております。まず1つめは、施策の現状、課題、展開の整理にあたって、上位計画の政策を振り返るということで原案の提示をいただいております。ただ、現状の様式では、施策が上位の政策、分野にどう貢献できるのかという結びつきまでは読み取りづらいのではないかとということで、上位計画の整理はしてもらいますが、それが個々の事務事業にどう関係していくのかを考えながら記入できるようにできればということで評価しました。それを考えることが、政策、施策レベルでの大きなPDCAとなり、そこを意識していってもらいたいということです。2つめ



	<p>は、個々の目標の検証に際し、国レベルでの環境変化、施策の対象者レベルでの状況変化を記入する部分で、非常に項目が多いことから、数値を追いかけることだけに注力してしまい、そこから何を読み取ればよいのか、どこを注意していかなければならないのかが、逆に見えづらくなる危険性があるため、その部分をはっきり意識できる様式にしていかななくてはならないと感じました。また、この部分が、事務事業レベルでの小さなPDCAということで、外部環境と内部環境の変化、それに対して、今実施している事務事業に変化があるのかというところをしっかりと意識できるような調書にしていただければと思います。この作業をとおして、担当者レベルでもより大きな政策、分野でも目標達成の意識を共有して、担当の事務事業だけではなく、他事業との連携についても意識を高めていってもらいたいということで書かせていただきました。</p>
徳永会長	確認、質疑等あればお願いします。
事務局（鎌田）	進行管理調書について、協議前、協議後ということで、本日の資料に添付させていただきました。こちらも併せてご確認いただければと思います。
徳永会長	協議前の調書ですが、前半部分に記入量が多く、各所で指標を整理する項目も多くなっています。また、現状分析が中段にきており、その後の指標との関係性が分かりづらくなっていると感じました。このため、数値の部分については、資料編ということで別にまとめた方がよいと指摘しました。一番重要な現状分析についても、内部環境、外部環境を整理、明記することで関係性をしっかり理解した方がよいということで、コンパクトな調書作成でもよいのではないかとこのことを指摘させていただきました。
徳永会長	実際の作業として、担当課に調書を作成していただいた後、ヒアリング等は実施されているのでしょうか。
事務局（鎌田）	各課に作成していただいた調書を基に、サマーレビューという形でヒアリング、意見交換を実施しております。
徳永会長	調書は、ヒアリング時にも大切な資料になるかと思います。レビューにおいて、指標値の整理、担当課が何を考えているのかしっかりと把握できるように取り組んでいただければと思います。
徳永会長	その他、確認、質疑等よろしいでしょうか。
委員	【はいの声】
徳永会長	5つの事業について確認いたしましたが、全体的に確認事項等ございませんか。
桂委員	先ほど報告いたしました「美里町不妊治療費助成事業」について、昨年、2回目以降よりも1回目に掛かる治療費負担が大きいという指摘をさせていただき、今回、初回治療者に対する助成費が5万円増額となったという経緯があります。そこは改善していただいた内容になります。
徳永会長	そういった点も、評価内容として報告書に記載していただければと思います。

徳永会長	その他、確認、質疑等よろしいでしょうか。
委員	【はいの声】
徳永会長	それでは、報告書の修正については、大きな修正はありませんでしたが、各委員で文章上の修正を行っていただいた後、再度提出していただき、以降の確認等は会長に一任とさせていただきますよろしいでしょうか。
委員	【はいの声】
徳永会長	次に、地方創生関連事業の修正した評価報告書の提出ですが、1週間後の令和元年8月8日（木）まで、会長、事務局へ提出でよろしいでしょうか。
委員	【はいの声】
徳永会長	続きまして、3次回の会議開催日程について、前回の会議で確認しておりますが、事務局、説明をお願いします。
事務局（鎌田）	<p>次回、第3回全体会は、令和元年8月27日（火）午前10時30分からとなります。場所は、本日同様、宮城大学様の会議室をお借りしたいと思っております。議題といたしましては、それぞれの委員に担当いただく重点実施施策の評価についてです。なお、評価報告書の提出期限は、8月21日（水）としておりますので、事務局あてに報告書をメールで提出してください。すでに、個別会を開催いただいている委員もいらっしゃいますが、担当いただく重点実施施策の個別会をそれぞれ開催いただくこととなります。個別会の日程調整は施策担当課と、別途、お願いいたします。</p> <p>評価の際の参考資料として、本日、「政策・施策形成に係る進行管理調書」と施策に関連する「主要な施策の成果」を配付させていただきましたので、後程、確認願います。</p>
徳永会長	<p>事務局から説明がありましたとおり、次回の全体会は、重点実施施策の評価審議となります。</p> <p>第3回全体会の開催日は、令和元年8月27日（火）午前10時30分から、場所は宮城大学、評価報告書の提出日は、令和元年8月21日（水）までです。その間に個別会を委員ごとに開催することとなります。</p>
徳永会長	<p>続いて、「その他」でございますが、委員の皆様から、何かございますか。</p> <p>無ければ事務局から、何かございますか。</p>
事務局（鎌田）	事務局からは、特にございません。
徳永会長	<p>それでは、長時間にわたり、大変お疲れさまでございました。本日予定の議事的一切を終了いたしました。</p> <p>それでは、進行へお戻しいたします。</p>
事務局（佐野課長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>次回の会議は、すでに開催されている桂委員を除いて個別会となります。</p>

	<p>なお、本日の会議開催に係る報酬等については登録いただいている銀行口座に8月中に振り込みいたします。また、報告の中でお話しさせていただきました個別会の報酬及び費用弁償についても併せて振り込みいたします。</p>
事務局（佐野課長）	<p>それでは、以上をもちまして、令和元年度第2回美里町政策推進・評価委員会を終了いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>

【午後2時40分】閉会

上記会議内容に相違ないことを認め、ここに署名する。

令和元年 月 日

\_\_\_\_\_  
会議録署名委員

\_\_\_\_\_  
会議録署名委員